



CASE STUDY
CONSUMER & INDUSTRIAL

株式会社オーディオテクニカ

効果的な対策を講じ、偽造業者の 一歩先を行く



偽造品の特性や販売手法が時代とともに変化する中、オーディオテクニカ様は効果的な対策を講じて対応してきました。2011年以降、OpSecは同社と提携し、社内チームの連携を支援するとともに、柔軟かつ先を見据えたアプローチを構築してきました。このブランド保護戦略は、将来に向けた確固たるビジョンを提示しています。

課題

録音と再生における卓越性の追求は、往々にして技術的な側面と感情的な側面の両方にまたがっています。

このことは、松下秀雄氏と、彼が1962年に日本の東京で設立したブランド「オーディオテクニカ」の物語に、最も顕著に表れています。同社の起源は、創業者がアナログオーディオの温かみへの情熱を、リスナーに自然で純粋な感覚体験をもたらす技術製品へと昇華させようとした、最初のピックアップカートリッジにまでさかのぼります。

以来、同社はヘッドホン、イヤホン、マイク、ターンテーブル、その他のオーディオ技術製品へと事業を拡大し、一般消費者から音響のプロフェッショナルに至るまで、高品質で信頼性の高い音楽制作、放送、再生、そして迫力あるライブパフォーマンスを実現しています。現在、同社の製品販売、商標、その他の知的財産権は110カ国以上に及んでいます。

オーディオテクニカ様は、その製造の伝統と豊富なノウハウを活かし、サウンドプロフェッショナルの厳しい基準を満たすべく、

技術力を進化させてきました。同社の製品は、特に世界中のサウンドエンジニアやアーティストから広く評価され、信頼されています。また、その革新的な精神は、数多くの特許、受賞歴、そして「40シリーズ」マイクのような先駆的なデザインを生み出しています。

製品ラインナップを拡充する一方で、オーディオテクニカ様は事業を日本から米国、欧州、そしてアジア全域へと拡大してきました。高性能な音質へのこだわりは、現在も日本で手作りされているピックアップカートリッジの製造に象徴されています。これらのピックアップを搭載したターンテーブルは、米国、英国、フランスで市場シェアのトップを占めています。

ブランドが世界的に認知されるにつれ、過去20年間、オーディオテクニカ様はヘッドホンやマイクロフォンの偽造品問題に悩まされてきました。Eコマースの爆発的な成長に伴い、偽造品の数は増え続け、ブランドへの影響を無視できないほどになりました。

解決策

オーディオテクニカ様は、主に中国の主要なECサイトにおいて、主力製品であるヘッドホンやその他の特定商品の偽造品リストを削除することから、偽造品対策をスタートさせました。この問題は極めて深刻であり、事業価値やブランド価値が損なわれ、顧客にも悪影響が及んでいました。OpSecと連携して多数の偽造品を削除した結果、中国の主要なマーケットプレイスサイトにおける偽造品の流通は徐々に減少し、脅威も軽減されました。

今日、偽造品の販売は東南アジア、ヨーロッパ、北米へと広がり、南米でも偽造品が出現しています。

明らかに偽物と判別できる製品に加え、本物か偽物かを判断することが困難な製品も増加しています。

オーディオテクニカ様は、現地の事情に精通した海外現地スタッフや、各国のECサイトの状況を熟知したOpSecのアナリストと緊密に連携することで、より効果的な偽造品対策を実現しています。



OpSec Marketplaces:複数の国およびオンラインマーケットプレイスにおいて包括的な監視と取り締まりを行い、偽造品の販売者を効果的に検知・排除します。

OpSecは世界中の約1,000のECサイトを監視しており、そのプラットフォームは主要なマーケットプレイスだけでなく、中規模および小規模な地域マーケットプレイスも網羅しています。同社のオンラインブランド保護アナリストは、各国の法律や規制、ならびにECサイトの運営方針に精通しています。

この体制により、オーディオテクニカ様のようなブランドは、偽造品が主に販売されている地域における変化に迅速に対応することが可能になります。OpSecとの連携により、オーディオテクニカ様は、対策の対象となる国やECサイトが変更された場合でも、偽造品対策を柔軟に展開し、現地の状況や言語に適切に対応できるようになっています。

偽造品対策が複数の国に拡大するにつれ、オーディオテクニカ様は社内のリソース不足やブランド保護に対する意識のギャップを克服する必要に迫られました。同社はまず対策の対象範囲を絞り込み、侵害商品の削除という具体的な成果を示すことで、プロジェクト担当者の一人ひとりに主体性を醸成しました。

成果

社内チーム、特に海外拠点のチームと協力し、管理可能な範囲で取り組み、実績を積み重ねたことで、オーディオテクニカ様は双方にとって有益な協力体制を確立することができました。

また、これによりオンライン上の偽造品販売への対応範囲を拡大することもできました。侵害製品の削除に成功したことで、日本の本社による取り組みへの信頼が高まり、海外チームとの建設的な連携が促進されました。

さらに重要なことに、これにより、オンラインでの偽造品対策に対する全社的な積極的な取り組みが実現しました。

「偽造品の数が減少しており、これは非常に助かっています。当社はOpSecに対し、知的財産権を侵害する商品の掲載、詐欺サイト、ソーシャルメディア上の偽広告など、オンライン上で発生する様々な問題に対処するための包括的な対策システムの構築を依頼しました。OpSecのサービスにより、問題を迅速かつ効果的に解決することができ、当社のグローバルなオンラインビジネス環境の安定化に大きく貢献しています。」

株式会社オーディオテクニカ 管理部 法務・知的財産課 石川 守哉